

2-(4) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

【必要修得単位数】

学部・研究科等	修業年限	必要修得単位数	科目区分毎の修得単位数				取得可能な学位及び専攻名称			
			学科	必修	選択必修	選択				
芸術学部		124	文化財保存修復学科	50	33	41	学士(芸術)			
			歴史遺産学科	36	43	45				
			美術科	43～62※	47～62※	15～19※				
			文芸学科	44	35	45				
		124	文化財保存修復学科	54	35	35				
			歴史遺産学科	52	35	37				
			美術科	60～64※	35	23～29※				
			文芸学科	46	35	43				
		124 (2023年以降入学者)	工芸デザイン学科	80	35	9				
デザイン工学部		124	プロダクトデザイン学科	44	33	47	学士(デザイン)			
			建築・環境デザイン学科	50	45	29				
			グラフィックデザイン学科	44	41	39				
			映像学科	42	33	49				
			企画構想学科	52	33	39				
			コミュニティデザイン学科	44	52	27				
			124	プロダクトデザイン学科	56	35		33		
		建築・環境デザイン学科		62	35	27				
		グラフィックデザイン学科		58	35	31				
		映像学科		52	35	37				
		企画構想学科		58	35	18				
		コミュニティデザイン学科		70	35	19				
		芸術工学研究科		2年	30	芸術文化専攻		14～23※	-	7～16※
				デザイン工学専攻		18		2※	10～12※	修士(デザイン工学)
	3年	10	芸術工学専攻	10	-	4	博士(芸術工学)			

※科目区分毎の単位数は選択するコース・領域により異なる

【成績評価】

合否	評価		GP (グレードポイント)
合格(単位付与)	A	成果が特に優れている	4.00
	B	成果が優れている	3.00
	C	成果が普通である	2.00
	D	単位は認められたが、もっと努力が必要	1.00
不合格	F	授業の重要で基本的な要素を理解していない(59点以下)	0

【GPA】

成績評価をポイント化し総合的、客観的に表すのがGPAです。シラバスに各授業の学習目標や目標達成のための授業方法及び計画を提示し、成績評価基準を明示した上で、厳格な成績評価を行います。GPAは、合格科目だけではなく不合格科目や受講を途中で放棄した科目も成績評価の対象とします。

【GPAの計算方法】

「GPA」とは、Grade Point Average(単位当たりの成績平均値)で、各科目の単位当たりの評価(GP=グレードポイント)の総合平均を示します。各科目の単位当たりの評価(GP)は、成績評点を4点満点のスケールで点数化したもの(A=4.00、B=3.00、C=2.00、D=1.00、F=0)を、科目の単位数に乗じて算出します。

$$\text{GPA} = (\text{各種科目の単位数} \times \text{その科目のGP}) \text{の合計} / (\text{履修登録した単位数}) \text{の合計}$$